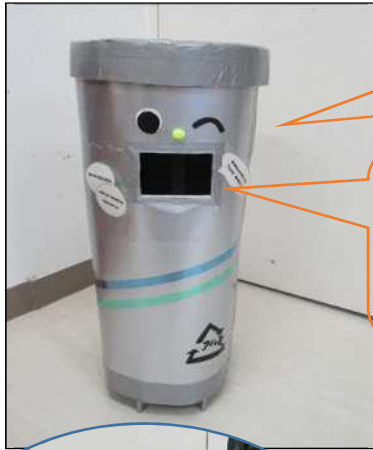




富士川第一幼稚園 令和3年10月 第2号



富士山とともに 輝く未来を拓くまち  
SDGs 未来都市 富士市



こんにちは。アルミ君です。  
いつもアルミ缶を持ってきてくれてありがとう！

僕の口や頭からお腹を覗いて、どのくらい集まっているのか確認する子もいるんだ。僕のお腹にたまったアルミ缶を見て驚く一幼っ子の顔を見るのが大好きさ！



令和3年度も、富士川第一幼稚園のみなさんはもちろん、地域の方にも多大なご協力をしていただきながら、アルミ缶回収が始まりました。今年度は、アルミ缶回収日数日前には、PTAさんより各クラスにカードでの呼び込みが始まり、当日は、年長組が、「待ってました！」と、玄関からトラックまで、集まったアルミ缶を何往復もして運び出してくれています。アルミ缶があるからこそ、手伝いの必要性に年長組が気付き、その姿を見る年中・年少組に自然と受け継がれていきます。



“回収されたアルミ缶が一体どうなっているのか”が、子どもたちの疑問であることを、第1号でも紹介しました。職員が調べたことを廊下に掲示すると、とても興味深く見る年長、年中組の姿や、年少組でも、アルミを溶かす場面の写真を見て「火！火！」と、指差して大興奮する姿もあり